

# 仕 様 書

## 1. 件名

(仮称) 當麻複合施設庁舎書庫用集密書架等の購入

## 2. 本業務の目的

本業務は、(仮称) 當麻複合施設の地下1階(書庫)、1階(閉架書庫)及び2階(公開書庫及び閉架書庫)において、書類及び書籍等の収納・保管に必要な集密書架(ハンドル式移動棚・固定棚)を購入及び設置をするものである。

## 3. 納入製品の種類、数量等

別紙数量表のとおりとし、別紙参考図に示す範囲内に設置可能な製品とし、納入、組立、設置及びレール敷設を含めた1式とする。

## 4. 仕様

### (1) 単柱式書架仕様

- 1-1. 支柱は、60mm×30mm以上の口型、板厚2.3mm以上とすること。
- 1-2. 床の不陸に対応できるアジャスターを装備するものとすること。
- 1-3. 書架の1間口の寸法は、柱の芯々で900mm(E棚の1連分は600mm)とすること。
- 1-4. 棚板の段替えピッチは25mm以下とし、棚受は書物の側面への倒れ止め機能を兼ねた棚受一体型の構造で、器具等を使用しなくても段変更が容易に行えること。
- 1-5. 最下段は書籍の背表紙が見えやすく、かつ書籍の大きさにも対応できるよう、棚板はフラット及び傾斜両方対応できる棚受を取付けること。
- 1-6. 棚板の奥行は220mm～230mmとすること。
- 1-7. 棚板の耐荷重は、40kg/段以上とすること。
- 1-8. 棚板の厚み(見付)は25mmとし、各段の有効高さは275mm以上とすること。
- 1-9. 各段に支柱ピッチに合わせて移動可能背受を取り付けること。(ただし最下段は下部つなぎがあり背受として兼用する場合は不要とする。)
- 1-10. 塗装色は、ホワイト系とすること。
- 1-11. 書架の転倒防止の為、ベース又はベースのアジャスター部において床固定を行うこと。
- 1-12. スチール巾木を取り付けること。
- 1-13. 床固定のアンカーは、転倒による引抜きに十分耐える後施工アンカー(M8×50)を使用するものとすること。
- 1-14. 複式書架には別紙図面の通りに天つなぎを行うこと。
- 1-15. 書架の5～7段目には、地震時における書籍の落下を軽減させるため、地震時に可動する落下軽減機能を有することとする。落下防止機能は、地震発生時以外は書籍の取り出しを妨げないものとし、かつ棚板のファイルメーターに影響しないものとする。ただし、その装置にはテープやシール等の消耗品を使用しないこと。

## (2) 移動棚仕様

- 2-1. 移動棚は、大別して、レール部・台車部・駆動部・棚部から構成されるもので、各部の特性は次の通りとする。
- 2-2. レールは荷重を受ける平鋼と転倒防止用のレールプレートからなるものとする。
- 2-3. レールは、据置式の耐震レールとし、フラットバーは防錆対策としてステンレス製（SUS304）とすること。ただし、B1F 書庫 A については、レールプレートもステンレス製（SUS304）とすること。
- 2-4. レールの両端にはスロープ（普通鋼板）を付けることとする。
- 2-5. 台枠は、剛性を高めるため、溶接構造・ボルト連結タイプとすること。
- 2-6. 台枠は、支柱脚部を確実に固定するため、落とし込み構造とし、ボルトにて緊結するものとする。
- 2-7. 台枠は、棚の部分的な使用などによる積載重量のアンバランスが生じても、変形が生じないよう、台枠高さを 110 mm 程度とすること。
- 2-8. 駆動は、ハンドルの回転力をハンドル軸からローラーチェーンを介し、中間シャフト（中間軸）を経て、駆動軸、車輪へ伝える 3 軸構造とすること。
- 2-9. ハンドルは、どこからでも駆動をかけられる直接駆動の円形ハンドル（ $\phi 400$  mm $\sim$ 420 mm）とすること。
- 2-10. ハンドルは、折り畳み式取手付とし、ハンドル中央には、衝撃に十分耐え、片手で操作が簡単にできるロック装置（センターロック）を有するものとする。
- 2-11. 駆動方式は、中間シャフトを介する後輪駆動方式とすること。
- 2-12. 車輪軸は、 $\phi 25$  の磨棒鋼を使用し、両車輪軸（駆動・従動）は通し軸とすること。
- 2-13. 車軸受は、メンテナンスフリーの無給油方式とすること。
- 2-14. 車輪の材質は、機械構造用炭素鋼とし、車輪径は $\phi 118$  mm 程度とすること。
- 2-15. 車輪は、脱線防止上、前後両端のレール部を両フランジ付車輪とすること。
- 2-16. 支柱の形状は $\text{C}-35 \times 30 \times \text{t}1.6$  以上とし、孔ピッチは 25 mm 以下とすること。
- 2-17. 棚板・棚受・背受は、支柱ピッチに合わせて移動可能なものとし、同一種の棚において互換性のあるものとする。
- 2-18. 棚板の耐荷重は、60kg/段以上とし、25mm 以下の単位で上下に移動可能とすること。
- 2-19. 棚受は、側受兼用タイプとすること。
- 2-20. 背受は、H58 mm 程度とし、棚板を外さなくても容易に着脱できるものとする。なお、複式においては、中央の支柱に取付けて、両面を共有するものとする。
- 2-21. 前面パネルには、A5 サイズ程度で収容物を明記できる名差しを有するものとする。
- 2-22. 収納物の大きさによっては、複式を単式として使用できるよう、棚中央部（間口方向）にブレースを設けず、天板は水平・垂直方向に対し耐震ガセットプレートを施し、支柱と天板・台枠によるフレーム構造のものとする。
- 2-23. 単式棚には背面パネルを取り付けること。
- 2-24. 全ての移動棚には後面パネルを取り付けること。
- 2-25. 可動棚のロック装置は、ハンドルの中心に位置し、ロック状態が一目で識別できるよう、赤色表示されるものとする。
- 2-26. 移動中であっても、ロック装置を作動させると非常停止し、かつロック状態になるもの

- とすること。
- 2-27. 地震等に備え、可動棚の各台車に下部転倒防止金具を有するものとする。なお、下部転倒防止金具は台車のフレームに取り付け、レールプレート内に入れることにより棚の転倒を防止するものとする。
- 2-28. 可動棚は、震度 5 弱以上の地震を感知した場合、ハンドルのロック装置が自動的に解除され車輪の拘束が解除される機構を有すること。
- 2-29. 固定棚の 5～7 段目には、地震時における書籍の落下を軽減させるため、地震時に可動する落下軽減機能を有することとする。落下防止機能は、地震発生時以外は書籍の取り出しを妨げないものとし、かつ棚板のファイルメーターに影響しないものとする。ただし、その装置にはテープやシール等の消耗品を使用しないこと。

### (3) 複柱式書架仕様

- 3-1. 基礎は、銅製ベースとし、支柱とボルトにて緊結するものとする。
- 3-2. 基礎は、t2.3mm を曲げ加工し、床固定金具を兼用するものとする。
- 3-3. 支柱の形状は $C-35 \times 30 \times t1.6$ 以上とし、孔ピッチは 25 mm 以下とすること。
- 3-4. 棚板、棚受、背受は支柱ピッチに合わせて移動可能なものとし、同一種の棚において互換性のあるものとする。また、同書庫内の移動棚にも使用できるものとする。
- 3-5. 棚板の耐荷重は、40kg/段以上とし、25mm 以下の単位で上下に移動可能とすること。
- 3-6. 棚受は、側受兼用タイプとすること。
- 3-7. 背受は、H58 mm 程度とし、棚板を外さなくても容易に着脱できるものとする。なお、複式においては、中央の支柱に取付けて、両面を共有するものとする。
- 3-8. スチール巾木を取り付けること。
- 3-9. 収納物の大きさによっては、複式を単式として使用できるよう、棚中央部（間口方向）にブレースを設けず、天板は水平・垂直方向に対し耐震ガセットプレートを施し、支柱と天板・台枠によるフレーム構造のものとする。
- 3-10. 移動棚に隣り合う書架においては前面に化粧パネルを付けること。
- 3-11. W900 棚・W600 棚・W500 棚の 5～7 段目には、地震時における書籍の落下を軽減させるため、地震時に可動する落下軽減機能を有することとする。落下防止機能は、地震発生時以外は書籍の取り出しを妨げないものとし、かつ棚板のファイルメーターに影響しないものとする。ただし、その装置にはテープやシール等の消耗品を使用しないこと。
- 3-12. 別紙図面の通りに天つなぎを行うこと。

### (4) 中量棚仕様

- 4-1. 支柱と連ツナギ・側ツナギによるフレーム構造とし、嵌合方式によるボルトレスタイプとすること。
- 4-2. 基礎は、床を傷つけない樹脂ベースとし、支柱下部に嵌め込み式とすること。
- 4-3. 棚板 1 段当たりの耐荷重は、300 kg 以上とすること。
- 4-4. 棚板及び棚受は、工具も用いず簡単に取り外しが可能なもので、50mm 以下の単位で移動可能とすること。
- 4-5. 支柱の形状は $C55 \times 50 \times 10 \times t1.6$ とする。

4-6. 背中合う棚は支柱上下2か所で連結すること。

(5) 共通

5-1. JIS 表示 (JIS-S1039 書架・物品棚) 認証を得た工場で製作されたものとする。

5-2. ISO9001 及び 14001 認証取得工場で製作された製品とする。

5-3. グリーン購入法適合製品であること。

5-4. 使用する塗料は (F☆☆☆☆) 対応とする。

(6) その他

6-1. 保証期間は検収後1年とし、設計・製作・施工の不備により生じた故障は、無償にて速やかに修復すること。

6-2. 受注者は製作を開始する前に現場実測を行い、図面を提示し、発注者の承認を得ること。  
また、現場の状況によって生じた軽微な変更は、受注者の負担により行うものとする。

6-3. その他仕様書に明示されていない事項で疑義が生じた場合は、発注者と協議すること。

6-4. 搬入及び設置については、本体工事の引渡し前に行うものとし、搬入の時期・方法・経路等及び設置の工程・工法・手順等の決定については、本体工事施工事業者及び発注者と協議・調整のうえ、誠意をもって対応すること。

6-5. 搬入及び設置にあたっては、建物等に損傷を与えないよう十分注意し、必要に応じて養生等を行うものとし、損傷を与えた場合は、直ちに本体工事施工事業者及び発注者へ報告するとともに、受注者の負担により原状回復すること。

5. 同等品

(1) 数量表に記載の参考製品以外の製品の納入を希望する場合は、別紙「同等品申請書」及び納入希望製品のカタログ、参考製品との比較表、応答仕様書、配置図及び姿図を質疑期間中に下記担当部署に提出すること。同等品の可否については、同等品申請者に対し個別に回答を行う。

(2) 同等品については、下記に示す要件を全て満たすものであること。

・本業務の目的及び別表に記載の仕様・要件を満たすものであること。

・価格について、参考製品の定価の95%以上のものであること。

・寸法について、参考製品の近似値のものであること。

(3) 同等品の提案は、種別ごとに1者につき1種までとする。

5. 納入期限及び納入場所

(1) 納入期限

令和9年3月26日(金)まで

※ただし、工事の進捗状況によっては上記以降の日を指定する場合がある。

(2) 納入場所

奈良県葛城市竹内256番地9

(仮称) 富麻複合施設 地下1階 書庫・1階 閉架書庫・2階 公開書庫及び閉架書庫

## 6. 担当部署

葛城市役所 総務部 庁舎機能再編推進室

電話：0745-44-8217 FAX：0745-69-6456 Mail:choshakinou@city.katsuragi.lg.jp

別紙

令和    年    月    日

同 等 品 申 請 書

葛城市長   阿古和彦   殿

所在地  
会社名  
代表者名 印

「（仮称）當麻複合施設庁舎書庫用集密書架等の購入」において、下記の製品を仕様書記載の参考製品と同等品以上の製品として、入札書を提出したく申請します。

同等品又は同等品以上の製品				
メーカー	型番	寸法	カタログ価格	備考

※同等品のカタログ、参考製品との比較表、応答仕様書、配置図及び姿図を添付すること。